

要請番号 (JL12716B02)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ソロモン	A101 コミュニティ開発		個別	交替 2代目	2年	・ 2017/2 ・ 2017/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

漁業・海洋資源省

2) 配属機関名 (日本語)

マキラ・ウラワ州水産課 キラキラ水産センター

3) 任地 (キラキラ) JICA事務所の所在地 (ホニアラ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機 で 約 0.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、州内の水産事業の運営や地元漁民への水産技術指導を行っており、州内3か所に水産センターを有している。州都のキラキラ水産センターでは、漁師に対して技術指導や養殖指導を行うとともに、漁師が獲った魚類を冷凍庫に保管しつつ販売代行し、利用料を徴収している。また製氷機で作った氷を漁師に対して販売して収入を得ている。製氷機等の機材は以前よりOFCF(公益財団法人海外漁業協力財団)から供与されている。2015年よりJV(経営管理)が活動している。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

マキラ・ウラワ州政府は、水産センターを商業化させ、財源確保のために活用したいという意向がある。現在は、漁師からの魚類の買い付け、保存、販売の事業を開始しており、軌道に乗り始めているところ。また、海ブドウの養殖事業が始まり、今後の発展が期待されている。
現在活動中のJVは、水産センターの財務・会計管理を中心とした管理・運営能力向上と、商業化に向けた事業推進に関わり、キラキラでの水産業の発展に貢献している。引き続き、管理・運営能力面に対するサポートと商業化発展、収益向上のために後任ボランティアが強く要請されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

水産センターの管理・運営全般を改善するため、同僚と共にセンター長を補佐しながら、以下の活動を行う

1. 財務・会計管理に関する支援、助言をする
2. センターの商業化に向けた水産物加工、流通、販路開拓に関するアイデアをだし、同僚や漁師らとともに実行する
3. その他配属先に必要と思われる事項に対するアドバイスを行う

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

冷凍庫、製氷機、コンピュータ(インターネット接続なし)

4) 配属先同僚及び活動対象者

水産センター統括 1名(40代男性)
製氷機管理者 1名(40代男性)
職員 2名(20代～30代)

※他、新センター長が本省より出向予定

漁師や州政府知事・次官、州政府職員も活動対象となる

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：(社会経験) 3年以上 備考：管理・運営に係る指導を伴うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(23～35℃位)

[電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(不安定)

【特記事項】

財務に関する知識があるとよい。水産物についての専門性は問わないが、自ら調べ知識を身に付けようとするやる気のある人を歓迎。住居は同任地の同性隊員との同居となる可能性あり。船外機付ボートによる出張あり。